



森林文化都市
飯能市

飯能市 市勢要覧

〒357-8501
埼玉県飯能市大字双柳1番地の1
TEL 042-973-2111(代表)
平成31年3月発行
令和7年3月改訂

©(2025)Moomin Characters/R&B



飯能市 市勢要覧

HANNO CITY

飯能市 市勢要覧

HANNO CITY



飯能市のいいところ

人と自然が共生する
飯能市の魅力を知ってほしい。

緑の山がたたずみ、清らかな川が流れ、
この地で培われた歴史と
新たに育まれる文化と
人のやさしさとあたたかさがある。
そんな飯能市のいいところを紹介します。

水×緑×人が出会う
森林文化都市はんのう

Meets!×Hanno

Contents

P.6 飯能を楽しむ

Enjoy Hanno

P.28 飯能の暮らし

Hanno Life

P.40 飯能を知る

Know Hanno

P.48 飯能について

About Hanno



“余白と暮らす”—— 北欧に流れている

心地よいひとときを過ごせる



Enjoy Hanno 01

メッツァ

mettä

「メッツァ」は、北欧に流れているような心地よいひとときを過ごせる「メッツァビレッジ」とムーミン一家とその仲間たち、そして新しい発見との出会いが待っている「ムーミンバレーパーク」の2つのパークで構成されています。

「メッツァビレッジ」では、北欧の料理を楽しめるレストラン、北欧雑貨を購入できるマーケット、カヌーやワークショップなどのアクティビティも体験できます。

「ムーミンバレーパーク」はショーや展示、ムーミン物語に登場する灯台などさまざまな施設があり、ムーミンファンはもちろん、たくさんの人にムーミンの魅力を伝えられるテーマパークです。ムーミンの物語を追体験できる4つのエリアで、物語の魅力や原作者トーベ・ヤンソンの思いに触れてみませんか？

ムーミンと
その仲間たちに会える！

「ムーミンバレーパーク」の「ムーミン谷エリア」では、ライブエンターテインメントが繰り広げられる「エンマの劇場」などでムーミンやムーミン谷の仲間たちに会うことができます。



トーベ・ヤンソン あけぼの子ども森公園

トーベ・ヤンソンあけぼのこどものもりこうえん
Tove Jansson Akebono Children's Forest Park

ムーミンシリーズの作者として名高いトーベ・ヤンソンの名を冠した公園。彼女の思いは公園のあちこちに散りばめられ、こどもも、大人も、生き物も、草花も、それぞれがお互いを受け入れ、自由に時間を過ごせます。北欧童話の世界に迷い込んだような不思議な建物や、周辺環境と融合した園内のロケーションが注目され、人気スポットとして広く知られています。

最近では、園内にカフェがオープンしたことやライトアップが始まったことなどが話題に。世代を超えて愛され続けています。



そのままの世界観！

園内につくられたカフェ「カフェイスト」も、北欧をイメージ。メニューには、市内農家が生産する野菜が使われるほか、店舗内外装に「西川材」を使用。北欧時間の流れるカフェです。



こどもも、大人も誰もが

自由に遊び、くつろげる空間です



関東屈指の
人気アウトドアスポット



Enjoy Hanno 03

飯能河原

はんのうがわら
Hanno Riverbank

浅瀬が広がり、川遊びやバーベキューのスポットとして、多くの人でにぎわいます。

最寄り駅から歩いて15分ほどの場所にありながら、季節ごとの木々や清流に親しめる空間が魅力です。

上下流には遊歩道が整備され、木々の中での散策が楽しめます。入間川が大きく蛇行してできたこの河原は、江戸時代に木材をいかだにして下流の江戸などへ運ぶための拠点としてにぎわった場所でもあります。シンボルは赤が際立つ「割岩橋」です。



Enjoy Hanno 04

ノーラ名栗

のーらなくり
Nolla naguri

「ノーラ名栗」は観光の視点を取り入れた北欧の雰囲気を感じられる観光複合施設です。名栗地区の森林を活用した観光、農林業、健康増進、教育、体験などに関する取り組みにより、人を結びつけ、地方創生に大きく資する、地域が主役となる拠点施設を目指しています。

施設内では、地域の農林産物や西川材の雑貨などのお買い物の他、北欧風バーベキュー、フィンランド式テントサウナ®、グランピングなどが楽しめます。



飯能市の自然と北欧の文化

わたしのちょうどいいを見つける場所



気軽に登れて眺望良好

“遠足の聖地”としても親しまれています



Enjoy Hanno 05

天覧山

てんらんざん
Mt. Tenranzan

標高197mの天覧山。中腹まで道が舗装されているので登りやすく、ハイキングデビューにも、毎日の散歩にもおすすめです。頂上からの眺望はよく、飯能市街はもちろん、周辺の山々、遠く富士山を望むこともできま

す。春の桜、初夏のつつじ、秋の紅葉など一年を通じて観るものが多く、老若男女に親しまれています。少し足を延ばすと標高271mの多峯主山があり奥武蔵・奥多摩の山々も望むことができます。市内や近隣市町

村の小学校生の遠足で両山ともよく利用される程よい低山です。

日帰りで“大自然”を楽しめる



Enjoy Hanno 06

ハイキング・登山

Hiking

市域の約75%を森林が占める飯能市では、多くの山に登山道などコースがあり、平日・休日を問わず多くの方が楽しんでいきます。市街地から少し足をのばすと、緑の山麓や清流に出会い、適度なアップダウンがある

初心者向けの入門コースから、脚力に自信のある方におすすめの健脚者向けのコース、路線バスや鉄道を利用したコースなどさまざまなコースが楽しめます。

山登りをテーマとした漫画・アニメの

舞台としても、人気を集めています。

温泉に浸かりながら森林浴も

木のぬくもりに包まれた日帰り温泉



飯能産の木材でカヌーを手づくり

地域の自然と仲良くなる、こんな方法も

Enjoy Hanno 07

温泉と名栗湖

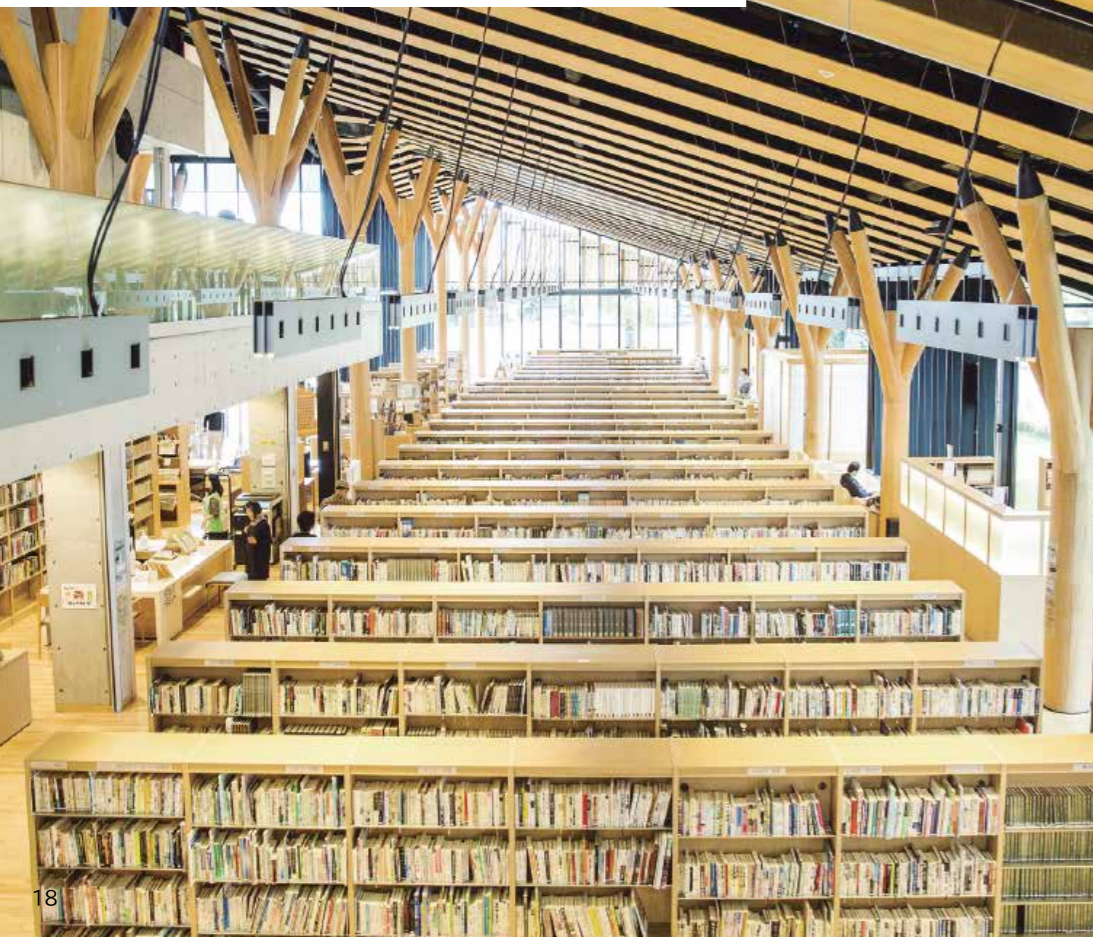
おんせんとなぐりこ
Onsen and Lake Naguri

「さわらびの湯」は、入間川沿いにある市営の日帰り温泉。館内は杉やひのきがふんだんに使われ、地元産の木材である「西川材」の魅力を伝えています。吹き抜けのあるホールや周辺の自然を眺められる開放的なラウンジは、木のぬくもりを感じられる空間となっています。泉質は「美肌の湯」ともいわれるアルカリ性単純泉。体の芯から温まり、日々の疲れがとれると評判です。登山やサイクリングの立ち寄りスポットとしても人気です。

近隣の有間ダムの人造湖「名栗湖」にある施設では、「西川材」を用いてオリジナルのカヌーを制作・体験することができます。

森をイメージした館内

木々の間から陽の光が降り注ぎます



Enjoy Hanno 08

図書館

としまかん
Library

大きな窓ガラスから明るい自然光が降り注ぐ、飯能市の図書館。

地元産の木材「西川材」の磨き丸太が天井まで伸びる館内は、樹木が林立する森をイメージしています。読書スペースや学習スペースが充実しているほか、乳幼児のための「はいはいコーナー」もあります。館内の至るところに、良質な「西川材」が使われ、落ち着いた雰囲気の中、読書に親しむことができます。



子どもとこどもの本のための図書館



Enjoy Hanno 09

こども図書館

こどもとしまかん
Children's Library

乳幼児と一緒に安心して利用できるこども図書館は、全国的にも珍しい施設です。ログハウスのような外観で、飯能河原のほとりにひっそりとたたずんでいます。館内は木のぬくもりあふれる空間が広がり、絵本や紙芝居、児童書を中心に約6万冊を所蔵。読み聞かせや工作教室、人形劇、パネルシアターなどが定期的で開催され、親子でゆったりとしたひとときを過ごせます。





歴史に学び自然に触れて
飯能の魅力を知る

Enjoy Hanno 10

博物館

はくぶつかん
Municipal Museum

歴史展示室、飯能と西川村、身近な自然の3つのコーナーからなる博物館。周辺の飯能河原や天覧山のビジターセンター的役割も。愛称の「きつとす」は、フィンランド語で「ありがとう」を意味する「キートス」をベ-

スに、地域の自然・歴史、そして…来館者への感謝を表現。博物館主催の特別展や収蔵品展、社会科研究展、歴史や周辺の自然に関する学習会、講座、観察会などを開催しています。



木造
軍荼利明王立像
「高山不動」として知られる高貴山常楽院にまつられている像の複製。実物は国の重要文化財に指定されています。



Enjoy Hanno 11

エコツーリズム

Ecotourism

エコツーリズムとは、自然や歴史、文化を体験しながら楽しく学び、それらの保全にも責任を持つ観光のあり方です。そして、このエコツーリズムの考え方を実績するのがエコツアーです。



人と地域と環境を、観光を通じて考える

飯能市では、地域の個性と魅力の源である自然を保全し、人と自然に育まれてきた文化を継承しながら、これらを有効に活用することにより、多くの人に心の豊かさと感動を与える場と出会いを提供するととも

に、これを持続可能な地域づくりにつなげていくことを目的として、エコツーリズムを推進しています。

奥武蔵の晩秋を彩る勇壮絢爛な祭り
こどもから大人まで、みんなが楽しめる



Enjoy Hanno 12

飯能まつり

はんのうまつり
Hanno Festival

毎年11月の第一土・日曜日に開催されている一大イベントです。11か町の勇壮絢爛な山車や飯能市指定無形民俗文化財指定の底抜け屋台が街中を練り歩き、にぎやかな屋台囃子が晩秋の奥武蔵に響き渡ります。提灯が灯る夜の引き合わせはまるで絵巻物を見るかのような美しさです。他にも、パレード、よさこい、路上

イベント、野外音楽会などが各所で行われます。グルメなど出店も多く、こどもから大人まで、誰もが楽しめる祭りです。また、通りには露店が軒を連ね、商店街にある店舗の多くも出店し、地域グルメも盛りだくさんで、食べ歩きが祭りのもう一つの楽しみになっています。





1.

Enjoy Hanno 13

飯能市のイベント

はんのうしのいべんと
Events



2.

一年を通じて
祭り、スポーツ、グルメなど
特色あるイベントを開催しています



3.

飯能市では、一年中さまざまなイベントが開催されています。

春は飯能春まつりや飯能新緑ツデーマーチ、夏は飯能夏まつり、秋は飯能まつりや東郷公園もみじまつり、冬は奥むさし駅伝競走大会や飯能

ひな飾り展、そのほか花火大会、はんのう元気市など、地域の奥深い歴史や自然の豊かさ、飯能の人々のあたたかさに触れられるものばかりです。どの季節を切り取っても、特色あるイベントが行われていることが、魅力の



4.

一つとなっています。

1. 飯能春まつり
2. 飯能新緑ツデーマーチ
3. 奥むさし駅伝競走大会
4. 飯能ひな飾り展

さまざまな公園

さまざまなこうえん
Parks and Playgrounds

飯能市内には、32の公園のほか、各地域に児童遊園もあります。北欧をイメージした公園(p8・p9参照)や、山の高低差を利用した大きな滑り台がある公園、晴れた日には遠く富士山やスカイツリーが見渡せる公園など、豊かな自然環境を上手く活用した魅力あふれる公園が点在しています。

また、中心市街地にも小さい子どもが遊ぶには最適な緑あふれる公園が各所にあり、近隣住民の憩いの場としても、毎日の散歩コースとしても広く親しまれています。



1.



2.



3.



4.



5.



6.

遊んだり、くつろいだり
過ごし方もいろいろ

- 1.2. あさひ山展望公園
- 3. 龍崖山公園
- 4.5. 阿須運動公園
- 6. 中央公園

大きな窓で風景を楽しむ

Hanno Life 01

都心からの特急

としまからのとっきゅう
Laview

西武鉄道池袋線・西武秩父線の特急車両「Laview(ラビュー)」は、建築家・妹島和世氏監修のもと、外観・内観ともに「いままでに見たことのない新しい車両」が形となった、まったく新しい特急車両。先頭車両の球面形状や客室の車窓の風景を一新させる大型窓、周囲の風景がほどよく映り込むシルバーの車体が特長です。

都市や自然の中でやわらかく風景に溶け込む特急車両での旅を楽しめます。



飯能駅

はんのうえき
Hanno Station

「ムーミン」の世界や北欧のライフスタイルを体験できるテーマパーク「メッツァ」の最寄駅である飯能駅。

「飯能」とムーミン発祥の地である「フィンランド」の要素を掛け合わせた「本物のフィンランドデザイン」を取り入れるため、フィンランド国内のデザイナーを対象に「飯能駅リニューアルデザインコンペ」を、平成29年度に西武鉄道株式会社がフィンランド大使館と共催で実施し、最優秀デザインに基づき自然あふれる飯能エリアの玄関口にふさわしい駅となりました。各ホームのデザインはフィンランドの季節を表現しており、駅構内の鳥の群れは出口へのサインだとか。本物のフィンランドデザインに彩られた飯能駅へぜひお越しください。



本物のフィンランドデザインを取り入れた水と緑の玄関口



自然と共に学び、ICTを活用した豊かな教育環境

奥武蔵創造学園 飯能市立奥武蔵小学校 飯能市立奥武蔵中学校

おくむさしそぞうがくえん
はんのうしりつおくむさししょうがっこう
はんのうしりつおくむさしちゅうがっこう
Okumusashi Sozogakuen

平成31年4月、東吾野小学校、西川小学校、吾野小学校の3つの小学校を統合し、西川小学校および吾野中学校の施設を活用した施設隣接型小中一貫校「奥武蔵創造学園」を開校しました。

この小中一貫教育校の設置は飯能市としては初めてであり、小中一貫教育を進める上でのモデルケースと位置付けています。豊かな自然

の中でタブレットなどのICT機器を活用した授業に取り組むとともに地域の人材を生かした「魅力ある学校」づくりに取り組みます。そして、子どもたちが学び育ち合うことはもとより、教師たちも専門家として学び合い、また、保護者や地域も教育に参画して学び育ち合う学校づくりを推進していきます。

奥武蔵創造学園
校章

奥武蔵創造学園の校章は「奥武蔵の山々」「杉・ひのき(西川材)」「高麗川の清流」を描き、自然豊かな「奥武蔵」の地を表現しています。



飯能市の子育て

はんのうのこそだて
Child Care

令和7年度を始期とする「飯能市
こども計画」では、「こども・若者が
自分らしく成長できるまち はんの
う」を基本理念として掲げ、各種事
業を推進しています。

飯能市では、子育て世代を支援

し、こども・若者が自分らしく成長
できるまちづくりのため「こども家庭
センター」において、妊娠期から子育て
期における切れ目のない支援に
連携して取り組んでいます。

こどもの健康を願って

こどもの健康をサポートするため、
子ども医療費は0歳から18歳年
度末まで、インフルエンザ予防接
種費用は生後6か月から中学3年
生まで無料です。



こども・若者が自分らしく
成長できるまち はんのう

“農のある暮らし” 「飯能住まい」

のうのあるくらし はんのうずまい
Hanno Zumai

“農のある暮らし”「飯能住まい」は、エコツアーによる農業体験から家庭菜園、市民農園、本格的な農業まで、さまざまなプログラムにより、南高麗地区での“農のある暮らし”をサポートする移住制度です。

この制度の最大の魅力は、立地や自然環境を活かして、平日は始発駅からゆったり座って都内へ通勤し、休日は豊かな自然に囲まれて田舎暮らしを満喫できること。子育てファミリーには最適な環境で、すでに“半農ライフ”を始めている方は、69世帯215人(令和6年12月末時点)を超えています。



気軽に移住できる、飯能住まい

憧れの暮らし、実現します！

“農のある暮らし”「飯能住まい」なら豊かな自然に囲まれた環境の中で薪ストーブのある家やログハウスなど、憧れの暮らしが……。地元の人たちや、すでに移住した人たちとの交流もでき、安心してゆったりした暮らしが送れます。



起業・創業 支援

きぎょう・そぎょうしえん
Start-ups Support

飯能市は、地域経済の活性化や雇用の創出、商工業の振興につなげるため、市内で起業・創業する方をさまざまな形でサポートしています。

法人を設立する際の諸費用、個人事業主が起業・創業する際に必要な設備・備品等の費用や広報費に対し「飯能市創業支援補助金」を交付しています。

また、出店に係る店舗の新築や改修等の工事費に対しては「新規出店促進事業補助金」も交付。さらに「はんのう起業プラットフォーム」では、ワンストップ相談窓口や専門家による個別相談、起業セミナー等を実施し、起業・創業を後押ししています。

新しいお店が続々

はじめるなら、飯能で



企業誘致

きぎょうゆうち
Attracting companies

飯能市では、市全域への経済波及効果による産業の振興、雇用の創出、地域の活性化が期待できることから、企業誘致に関する支援を実施しています。首都圏最大級の面積（約72ha）を誇る飯能大河原工業団地では、製造業を中心にリース業、食品加工業など多様な企業が操業しています。

また、飯能市の東部に位置する精明地区でも圏央道狭山日高インターチェンジに近接しているという好条件を生かし、企業誘致を実施しています。

地盤が強固な

飯能市の工業団地



暮らしを支える

くらしをささえる
Hanno City Infrastructure

快適な
暮らしのために
美しいまちのために

飯能市には市民の暮らしを支えるさまざまな施設があります。ごみを適切に処理し、リサイクルするクリーンセンター、河川の水を取水して水道水にする市内5か所の浄水場(小岩井、本郷、両吾野、上吾野、名栗)、

流入した汚水を微生物の力できれいな水にして再び河川へ戻す2か所の浄化センター(征矢町、原市場)、し尿を処理する環境センターなど、快適な暮らしのためにそれぞれ大切な役割を担っています。

- 1.2.3. クリーンセンター
- 4. 小岩井取水場 5. 小岩井浄水場
- 6. 浄化センター(征矢町)
- 7. 環境センター



1.



2.



3.



4.



6.



5.



7.

西川材

にしかわざい
Nishikawazai

埼玉県の南西部、荒川支流の入間川・高麗川・越辺川の流域は、西川林業地と呼ばれています。

江戸時代、この地方から木材をいかで江戸へ流送していたことから「江戸の西の川からくる木材」という意味で「西川材」と呼ばれるようになりました。

この地域の風土がすぎやひのきの生育に適しているとともに、人々が丁寧に手入れを重ねてきたことにより「西川材」は木材の色、艶が良く、

年輪が緻密で節の少ない木材として知られています。

「西川材」は柱や梁などの建築材のほか、美しい木目を生かした木工製品や内装材などにも使われています。

戦後の拡大造林期から50年以上が経過した今、植林した木は成熟期を迎え、一般家屋はもちろん、図書館や学校、ベンチなど幅広く活用されています。



江戸から続く良質な木材
上質で緻密な年輪が特長です

飯能市の文化財・史跡

はんのうしのぶんかざい・しせき
Cultural Properties of Hanno City

歴史を知る、飯能を知る

文化財は、長い歴史の中で生まれ、人とともに育まれ、今日まで守り伝えられてきた人類の財産です。

歴史や文化などの正しい理解のために欠くことのできないものであり、また将来の文化の向上発展の基

礎を成すものとして、大切に保存・保護されています。

飯能市には国指定の文化財が3件、埼玉県指定の文化財が32件、飯能市指定の文化財が74件あります。



1.



3.



4.



5.



6.



7.



8.



2.



9.

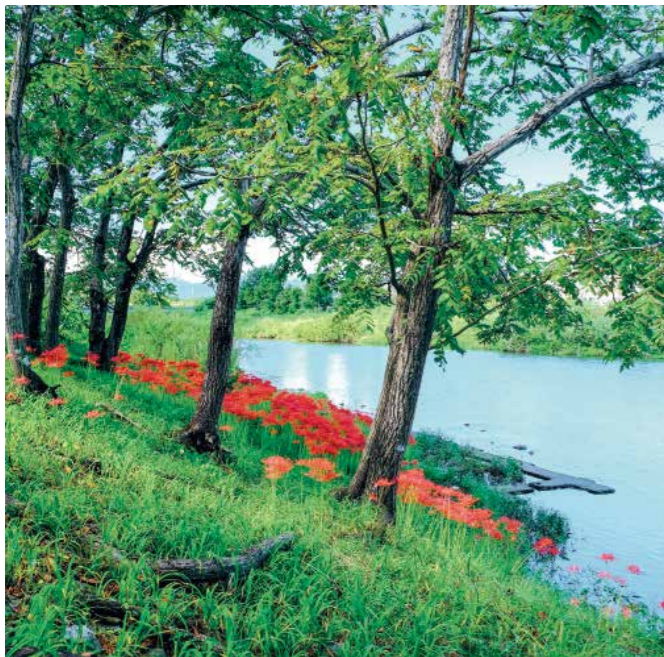


10.



11.

- 1.「福徳寺阿弥陀堂」国指定重要文化財
- 2.「滝の入タブの木」県指定文化財
- 3.「木造軍荼利明王立像」国指定重要文化財
- 4.「飯能の底抜け屋台行事」市指定文化財
- 5.「中山信吉木碑」県指定文化財(写真提供:吉備文化財修復所)
- 6.「能仁寺中山勘解由三代の墓」市指定文化財
- 7.「店蔵納基」市指定文化財
- 8.「名栗川橋」県指定文化財
- 9.「能仁寺庭園」市指定文化財
- 10.「飯能村絵図」市指定文化財
- 11.「落会西光寺双盤念仏」県指定文化財



1.



2.



3.



4.

Know Hanno 03

飯能市の見どころ

はんのうしのみどころ
Highlights of Hanno City

カメラを持って
訪れてみたい…
飯能の“映え”スポット

飯能市には見どころがたくさんあります。観光名所となっている古刹や自然が織り成す美しい景色、自然と調和しながらも個性的な建物。どのスポットもカメラを持って訪

れてほしいフォトジェニックな見どころです。写真を撮ったらぜひ、じっくりと観賞してみてください。奥深い飯能の良さを感じていただきたいと思います。

- 1. 阿須地内
- 2. 名栗湖
- 3. 吾妻峡
- 4. あさひ山展望公園

ホッケー

Hockey

飯能市では、昭和42年に埼玉国体ホッケー競技の会場となったことを契機に、ホッケーが盛んになりました。市内には3つの人工芝コートがあり、ホッケーに取り組みやすい環境が整い、たくさんの試合が行われています。

また、2023年4月に「阿須運動公園ホッケー場」は改修工事を行い、青い人工芝にリニューアルされ、同年11月には飯能市が「公式ホッケータウン」に認定されました。

第32回オリンピック競技大会(2020/東京)に出場したホッケー元日本代表の北里謙治選手や現日本代表の藤島来葵選手をはじめ、市内から輩出した数々の日本代表選手が多くのごどもたちに夢を与えています。現在、飯能市では小・中学校の授業にホッケーを取り入れるなど、ホッケー人口の拡大に向けた事業に力を入れています。



ホッケーのまち飯能



地域とともに歩む
飯能市を練習拠点に活躍する
女子プロサッカークラブ

©ELFEN

ちふれAS エルフェン埼玉

ちふれえーえす えるふえんざいたま
Chifure AS Elfen Saitama

ちふれASエルフェン埼玉は飯能市茜台を練習拠点に活動する女子プロサッカークラブ。2021年9月開幕の日本で初めてとなる女子サッカーのプロリーグ、「WEリーグ」に参入します。飯能市は、平成29年にちふれ

ASエルフェン埼玉が所属する株式会社エルフェンスポーツクラブと、スポーツ振興や青少年の健全育成、地域振興などを目的に連携協力に関する基本協定を締結しました。以来、選手が飯能市のさまざまなイベ

ントに参加したり、飯能市がちふれASエルフェン埼玉の情報をPRしたり、多岐にわたって連携・協働しています。

森林文化都市宣言 平和都市宣言

しんりんぶんかとしせんげん・へいわとしせんげん
Declarations of Hanno City

飯能市では歴史的な背景や地域の特性を生かし、平成17年4月1日に「森林文化都市」を宣言しました。この宣言が、飯能市への誇りや新たな創造性を高め、将来にわたって継承されていくことを願っています。

また、平成31年3月16日に「飯能市平和都市宣言」を制定。平和に対する決意を市内外に広く表明することで、改めて平和の大切さを認識するとともに、平和な社会の実現を目指すことで世界の恒久平和に貢献します。

飯能市イメージキャラクター 夢馬(むーま)

西川材で作られた世界最大とギネス社から認定された木馬が妖精に。耳には木の年輪、背中には木の葉をかたどった羽根があります。永遠の三歳の男の子。



第5次飯能市 総合振興計画

だいらじはんのうしろうしろうしんこうけいかく
The Fifth Plan of City Promotion

第5次飯能市総合振興計画とは、人口減少、超高齢化等の課題に対し、喫緊な対応と中長期的な展望・戦略を携え、「変える10年！変わる10年！飯能市から始まる日本の創生」を合言葉に、まちづくりに取り組むための羅針盤です。

「水と緑の玄関口“はんのう”」として、また、豊かな時間が流れる交流拠点として、いきいきしたことから高齢者まですべての市民が健康で活動し、経済・産業が好循環するまちづくりを市民の皆様とともに進めていきます。



Meets! x Hanno
 飯能市に住んでいる人も、来たことがある人も、知っている人も飯能市で何かに出会うことで、新しい体験をしてほしい。来たことがない人は来ることで、知らない人は知ること、少しでも新しい出会いがあるかもしれない。さあ！出会う！

About Hanno 03

Meets! x Hanno

みーつはんのう
 Slogan of Promotions

シティプロモーションのスローガン「Meets! x Hanno」には、飯能市で新しい発見や出会いを体験してほしいという思いが込められています。「Meets! x しぜん」「Meets! x 子育て」「Meets! x 遊び」「Meets! x にぎわい」で構成されている、飯能市のプロモーション動画も公開しています。ぜひ、飯能市で新しい体験を！

About Hanno 04

情報発信

じょうほうはっしん
 Communication and Promotion

飯能市のことをもっと知ってほしい…もっと身近な存在でいたい、そんな思いで飯能市は情報発信に力を入れています。

1. [ホームページ]

トップにイベントや新規事業へのリンクとなる「スライドバナー」、災害情報等のリンク集「もしものとき」などを配置し、使いやすさを追求しています。

2. [SNS]

X(エックス)、facebook、Instagramを運用。X(エックス)では広報、観光、防災などのアカウント、facebookは市長ブログやイベント情報、Instagramはフォトスポットなどを発信しています。

3. [飯能市ご当地アプリ]

飯能市の情報満載の公式アプリ。スタンプラリーやスクラッチなどのアプリイベントも実施しています。



Android版



iPhone版



3.



1.



2.



3.

都市間交流

としかんこうりゅう
Inter-city Exchanges

飯能市は、親善や文化交流、相互支援を目的とし、国内外のさまざまな都市と交流を図っています。

飯能市の都市間交流

1. ブレア市
(アメリカ合衆国カリフォルニア州)
1981年1月5日 姉妹都市締結
2. 埼玉県西部地域まちづくり協議会
「ダイヤプラン」
(所沢市、狭山市、入間市、日高市)
1988年8月発足
3. 高萩市(茨城県)
2003年11月1日 友好都市締結
4. 西武線沿線サミット
(豊島区、清瀬市、所沢市、秩父市、横瀬町、西武鉄道株式会社)
2012年5月20日協定締結
5. 横浜市中区(神奈川県)
2014年3月9日 友好交流協定締結
6. 墨田区(東京都)
2017年12月22日
災害時における相互援助に関する協定締結



1.



2.



3.



4.



5.



6.

ふるさと納税

ふるさとのうぜい
Furusato Nozei

寄附金で
地域を応援
返礼品は
飯能市の特産品が
そろっています。

飯能市では、ふるさと納税制度で飯能市を応援して下さる方の寄附を地域活性化に活用しています。また、寄附をして下さった方には、市の豊かな自然を体験し、魅力を感じていただける返礼品を贈呈しています。



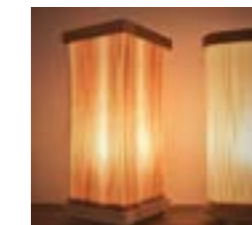
1.



2.



3.



4.



5.



6.



7.



8.



9.



10.



11.



12.

1. ムーミンバレーパーク1デーパス
2. 皆川明氏デザイン監修ウールブランケット
3. ちふれグループの化粧品
4. 地元産「西川材」を使った工芸品
5. 埼玉県産ブランド米「彩のさずな」
6. 7. 飯能の自然が育んだ果実
8. 9. 10. 11. 地元自慢のグルメ
12. 首都圏有数のゴルフスポットならではのプレー券

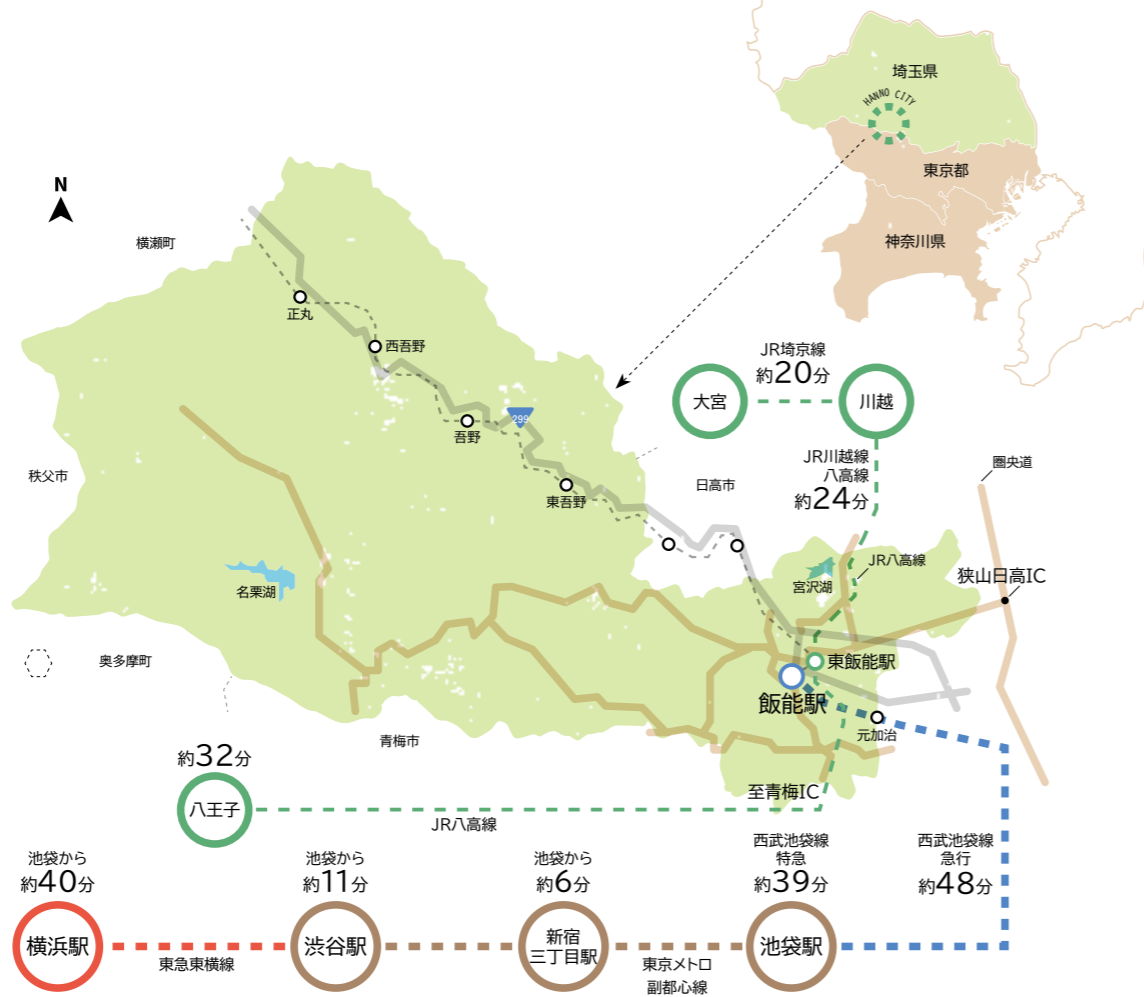
飯能市のアクセス

はんのうしのあくせす
Access

飯能市は東京都内への交通アクセスがとても便利。西武池袋線「池袋行き」などの始発駅である飯能駅から池袋駅まで特急で約39分、急行で約48分。東京メトロ副都心線に乗り入れているため、新宿・渋谷・横浜まで乗り換えなしで行けます。始発駅なのでゆったり座って都内への通勤が可能です。

東飯能駅からはJR八高線で八王子駅まで約32分、川越駅まで約24分。

圏央道狭山日高インターチェンジ・青梅インターチェンジにも近接しているので車もアクセス良好で休日も出かけやすいといわれています。



※表示時間は最短のもの

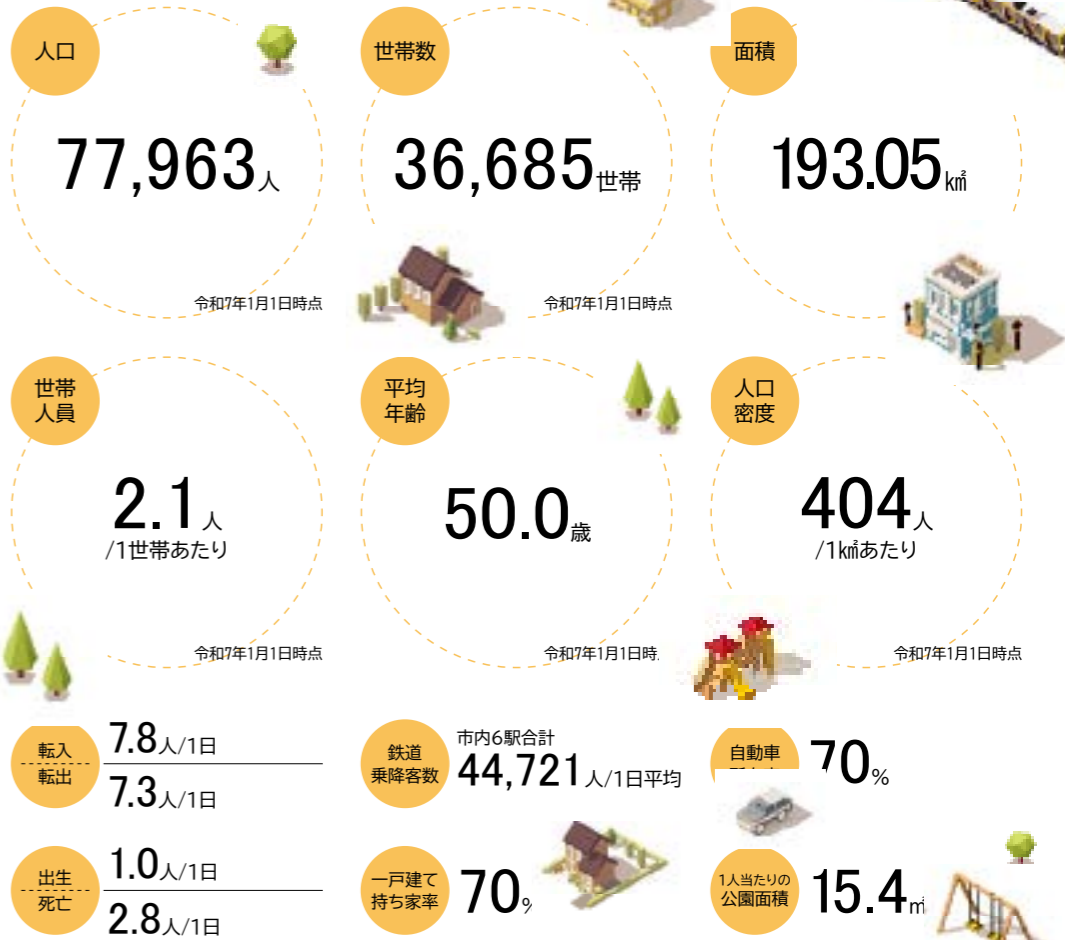
飯能市のデータ

はんのうしのでーた
Numbers of Hanno City

飯能市は埼玉県の南西部に位置し、都心から約50km圏内という交通アクセス良好な環境にありながら、緑と清流という自然に恵まれたまちです。北西部は山地で、市域の約75%を森林が占めています。南東部は丘陵地および台地で、北の高麗丘陵と南の加治丘陵の間の台地部分に市街地が発達しています。さらに、入間川・高麗川の一級河川が、西部山地から東部台地へと流下しています。

昭和29年に県下9番目の市制を施行。平成17年には名栗村と合併。県内3番目という広大な面積を持つ市となりました。

※「一戸建て持ち家率」は令和2年国勢調査「1人当たりの公園面積」は飯能市維持公園課都市公園面積より算出
その他は令和6年版 統計はんのう



飯能市のあゆみ

はんのうしのあゆみ
History

- 1882年 飯能・久下分・真能寺の3か村が合併し飯能町となる
- 1943年 南高麗村・加治村・元加治村・精明村が飯能町と合併
- 1954年 埼玉県下9番目の市制施行
- 1956年 原市場村・東吾野村・吾野村を編入合併
- 1967年 埼玉国体会場となる(ホッケー、レスリング)
- 1972年 市役所本庁舎完成
- 1982年 正丸トンネル開通
- 1985年 有間ダム完成
- 2004年 環境省からエコツーリズム推進モデル地区に指定される
- 2005年 名栗村と合併
森林文化都市宣言
- 2008年 エコツーリズム大賞受賞(環境省、日本エコツーリズム協会選出)
- 2012年 各地区行政センター開設、西武線沿線サミット開催
- 2013年 飯能市立図書館完成(林野庁長官賞受賞)
- 2015年 大河原工業団地企業立地率100%達成
- 2016年 "農のある暮らし"「飯能住まい」制度施行
フィンランド共和国駐日大使と在日フィンランド商工会議所が飯能市を視察
- 2017年 エコツーリズム特別継続賞受賞(環境省、日本エコツーリズム協会選出)
- 2018年 宮沢湖にメッツァビレッジがオープン
- 2019年 宮沢湖にムーミンパレーパークがオープン
平和都市宣言
- 2020年 ノーラ名栗がオープン
- 2022年 パートナーシップ・ファミリーシップ制度導入
おでかけむーま号 本格運行開始
医療費18歳まで無償化
- 2023年 市制施行70周年記念式典
- 2024年 飯能市PR大使任命

飯能市のシンボル

はんのうしのしんぼる
Symbol



市章

中央にカタカナの「ハ」「ン」を置き、3方に「ノ」、外側に「ウ」を配しています。



シンボルマーク

「HANNO」の頭文字、「H」をモチーフにして、緑豊かな森林、青は清らかな川の流れ、それらを囲む黄の太陽は豊かな自然を守り伝えていく人々の輪を表し、赤は活力ある市民の熱い心を表しています。そして、躍動感あふれる人の形は市のさらなる飛躍を象徴しています。



市の花 つつじ



市の鳥 うぐいす



市の木 すぎ

市民の皆様とともにつくる飯能市

飯能市長 新井重治

